

発行・編集：合同会社ハトコロボ（平成26年度南城市尚巴志の語り部育成事業）



尚巴志が生きた時代とシンクロ。想像力は止まりません。

南城市尚巴志の語り部育成講座（全7回）五回目は歴史の学びを終え、創作へと移りました。今まで学んできたこと（インプット）を、子どもたちへ伝えていくためのストーリーの創造（アウトプット）へとつなげていき、私たちが生きる世界に尚巴志の志をつなげていきます。

講師もバトンタッチし、演出家である富田めぐみさんが朗読劇創作の指揮をとります。始めに本ワークショップの目的と創作への姿勢を共有しました。先生のしつかりとしながらも、優しい語り口とワークショップですべきことが明確になったことで、参加者間の雰囲気もほぐれ、自由に表現できる創作活動の場になっていきました。（さすが演出家です）

ワークショップでは、尚巴志のライフステージ「誕生」「少年期」など六つに分け、三グループに分かれた参加者が、それぞれのステージに合わせた創作物語を作り、実演とともに披露をしました。生み出された物語は、グループ毎の個性が表れ、「ホームドラマ」、「歴史大作」など、尚巴志を語るときの切り口に多様性を与える、示唆にあふれるものとなりました。

また、創作の合間には、参加者が日頃行っている小学校での読み聞かせの共有会が行われました。普段、他の読み聞かせを見る機会のないこともあり、参加者は興味深げに、他小学校の読み聞かせを聞いていました。

創作って、楽しかった。

富田先生のワークショップでは、いままでの雰囲気と違う参加者の前のめり加減が伺えました。本事業で生み出しているかなければならないものは「朗読劇の台本」ですが、正直、始めは心配でした。モノを創造するということは、とてもエネルギーのいることです。しかも普段の生活で「創造する」などということを意識することはありません。

しかし蓋をあけてみると、みなさんとても楽しそうに物語を作っていきます。「創造する」ことの苦しみではなく、楽しみがここにはありました。そう！モノを作るって楽しいんだよね。そんなことを見せてもらった気がします。

で、例えばこんなお話ができました。

「パタパタ。パタ」

「カベを作っている親子（石を土にはる）」

「息子よ、我が城は土カベだ！」

「はい、父上」

「しかし強い石だけのカベもある！がこうすれば、石のカベに見えるだろう」

「さすが父上！いつも感心いたします」

「いやいや、刀を鉄に交換したのは良かった」

「それも父の姿を見て貿易を学んだおかげです」

「何事も知恵次第だ！」

「父上、次は村人のために何ができるのでしょうか？」

いかがでしょうか？

日頃の読み聞かせ合戦

今回、読み聞かせを行ってくれたみなさんは左の通りです。

・馬天小 嶺井さん「めつきらもつきらどおんどん」

・佐敷小 平田さん「ちびごりらのちびちび」

・百名小 仲村渠さん「にんじんごぼうだいこん」(ウチナー口バージョン)

・玉城小 大城さん「はだしのゲン」

富田先生のワークショップの間に、普段どんな風に読み聞かせを行っているのか、「絵本の読み聞かせ」披露の時間がありました。声優になりたかったというかおりさんの変幻自在な声、浩美さんのうちなーぐちのお話、敬美さんの子どもが小さいころからずっと読んでいる絵本、順子さんの素語りは、目の前に絵が浮かんでくるようで、それぞれの味わいがありました。読み終わって、「緊張して、足がブルブル」と言う方もいましたが、みなさん、それぞれの世界観を作っていました。次回は、まだ読んでいない、あなたが当たるのかな？(大好きな絵本を持参ください！)。

語り部たちの美味しいおやつ

講座では座学時に、琉球の歴史を想わせるお菓子を用意します。味覚からも歴史を感じてもらいたいからです。今回のドリンクは、

・自然栽培手もみグア

バ茶

・新垣ちんすこう 花

ぼうる



事務局スタッフのひとこと

お父さん初参加(涙)。来年に向けてのご提案も受付中(石田)

課題を真剣に、ワイワイと話す中で、だんだんと親しくなっていく女子たち(お母さんたち+初お父さん)に見ているこちらもうれしくなりました！次回も、みなさんの想像力をいっぱい広げていってほしいです。スタッフとして参加が楽しみです！(佐藤)

ついにお話作りが始まりましたね、皆さんの素晴らしい表現力に感動☆次回でワークショップは終了です、お披露目会に向けて全力投球よろしくお祈いします！(岡元)

今後の予定

第六回 二月二日(火)

「朗読劇創作のワークショップ②」 講師：富田めぐみ

第七回 二〇一五年二月三日(火)

「朗読劇お披露目会」 講師：富田めぐみ

次回の予定

次回も引き続き、朗読劇創作のワークショップです。前回だけでも多くの物語が紡がれました。次回ではその精度を上げていきます。また、引き続き「読み聞かせ」の共有も行っていきます。

日程：二月二日(火) 時間：九：五〇～一二：〇〇

集合場所：シュガーホール会議室

持ってきてもらえますか…短めの絵本

※次回も全参加型のワークショップを計画しています。その中で読み聞かせの時間を設けます。みなさんが日頃小学校の読み聞かせで使用している短時間で終わるような短めの絵本を持ってきてください。(前回読み聞かせを行わなかった方のみ)



みなさん、真剣に富田先生の話を聞き入る。



絵本には育児の歴史があるのです。